取扱説明書

ColorEdge®
CS230
CX240

カラーマネージメント液晶モニター

重要

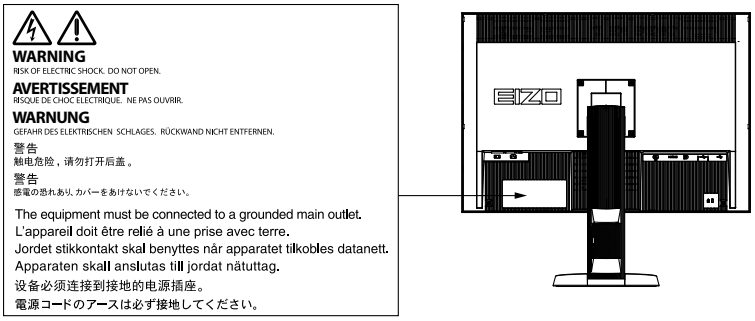
ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。
  http://www.eizo.co.jp

EIZO®

警告表示位置

例：CS230



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、色の再現性を重視する映像制作、グラフィック制作やデジタルフォト加工の用途にも適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分（CS230）/約7分（CX240：当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上（CS230）/7分以上（CX240）経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットやパネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

モニターについて 3

クリーニングの仕方 4

モニターを快適にご使用いただくために 4

目次 5

第 1 章　はじめに 7

1-1.　特長 7

1-2.　各部の名称と機能 9

1-3.　EIZO LCDユーティリティディスクについて ... 10

- ディスクの内容と概要 10
- ColorNavigator / ColorNavigator Elementsを使用するときは 10

1-4.　基本操作と機能一覧 11

- 調整メニューの基本操作方法 11
- ボタンガイドを表示する 12
- 機能一覧 13

第 2 章　画面を調整する 15

2-1.　対応解像度 15

- アナログ信号（DVI-I）入力時 15
- デジタル信号（DVI-I、DisplayPort）入力時 ... 15
- デジタル信号（HDMI）入力時 15

2-2.　解像度を設定する 16

- Windows 10の場合 16
- Windows 8.1 / Windows 7の場合 16
- Windows Vistaの場合 16
- Windows XPの場合 16
- OS X Mountain Lion（10.8）以降の場合 17
- Mac OS X 10.7の場合 17

2-3.　カラー調整をする 18

- 表示モード（カラーモード）を選択する 18
- 詳細な調整をする 19
- 各モードの調整項目 19
- ブライトネス（明るさ）を調整する 20
- 色温度を調整する 20
- ガンマを調整する 21
- 色合いを調整する 21
- 色の濃さを調整する 22
- コントラスト拡張の有効/ 無効を切り替える ... 22
- 輪郭補正をする 22
- クリッピングを設定する 23
- ゲインを調整する 24
- 6色調整をする 24

2-4.　画面を調整する 25

- デジタル信号入力の場合 25
- アナログ信号入力の場合 25

2-5.　信号の出力レンジを拡張する 28

2-6.　表示サイズを切り替える 29

- DVI、DisplayPort信号入力時 29
- HDMI（HD）信号入力時 30
- HDMI（SD）信号入力時 31

2-7.　動画性能を設定する 31

2-8.　カラースペースを指定する 32

2-9.　HDMIの設定をする 32

- ノイズを低減する 32

第 3 章　モニターの設定をする 33

3-1.　モード選択の有効/無効を設定する 33

3-2.　言語を選択する 33

3-3.　設置方向を設定する 34

3-4.　調整メニューの位置を変更する 34

3-5.　EIZOロゴを表示/非表示にする 34

3-6.　操作ボタンをロックする 35

3-7.　入力信号帯域を設定する 35

3-8.　USBポートを自動で切り替える 36

3-9.　DUE（Digital Uniformity Equalizer）設定を変更する 36

3-10.　初期設定に戻す 37

- カラー調整値をリセットする 37
- すべての設定内容をリセットする 37

第 4 章　SelfCorrectionについて 38

4-1.　SelfCorrectionを実行する 38

第 5 章　省電力機能について 39

5-1.　パワーセーブを設定する 39

5-2.　モニターの自動明るさ調整を設定する 40

5-3.　省電力の度合いを表示する 40

5-4.　ランプの明るさを調整する.....40
5-5.　USBのパワーセーブを設定する.....41
5-6.　DisplayPortのパワーセーブを設定する.....41
第 6 章　こんなときは.....42
6-1.　画面が表示されない場合.....42
6-2.　画面に関する症状.....43
6-3.　その他の症状.....44
6-4.　内蔵コレクションセンサーおよび SelfCorrectionに関する症状.....45
第 7 章　ご参考に.....46
7-1.　オプションアーム取付方法.....46
7-2.　複数の外部機器を接続する.....47
● 入力信号を切り替える.....48
● 入力信号の切替方法を設定する.....48
7-3.　USB（Universal Serial Bus）の活用について...49
● 動作条件.....49
● 接続方法.....49
7-4.　モニター情報を表示する.....50
● 信号情報を表示する.....50
● モニター情報を表示する.....50
7-5.　仕様.....51
● CS230.....51
● CX240.....52
7-6.　プリセットタイミング.....55
7-7.　用語集.....56
付録.....58
商標.....58
ライセンス.....58
VCCI.....59
その他規格.....59
アフターサービス.....60

第 1 章　はじめに

1-1. 特長

- 23.0型ワイド画面（CS230）
- 24.1型ワイド画面（CX240）
- 広色域（Adobe®RGBカバー率:97%、CX240のみ）
- 解像度1920×1080対応（CS230）/ 1920×1200対応（CX240）
- IPSパネルによる水平：178°、垂直178°の広視野角を実現
- フレーム同期モード対応周波数：23.75～30.5Hz、47.5～61.0Hz
- 3系統信号入力搭載（DVI-I×1、HDMI×1、DisplayPort×1）
  - DisplayPortコネクタ（8bitおよび10bitに対応）※1
  - HDMIコネクタ（8bit、10bitおよび12bitに対応）※1

    ※1 音声は非対応
- カラーモード機能を搭載

  次の規格で定められた色域、ガンマを再現できます。
  - Adobe®RGB（CX240のみ）

  紙に印刷した際の見え方を再現したPaper モードを搭載しています。

  「表示モード（カラーモード）を選択する」（P.18）参照
- 縦表示と横表示に対応（時計回りに90°回転）
- 内蔵コレクションセンサーを搭載し、SelfCorrection（セルフコレクション）によるモニター単独での画面補正に対応

  「第 4 章 SelfCorrectionについて」（P.38）参照
- モニター特性の測定と調整、カラープロファイルの作成が可能なカラーマネージメントソフトウェア「ColorNavigator」対応※2

  ※2 ColorNavigatorライセンス認証済モデルのCD-ROMに収録されています。「1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて」（P.10）参照
- フォトカラーマッチングソフトウェア「ColorNavigator Elements」対応※3

  写真のプリント結果とモニターを見比べながら、簡単にモニターを調整することができます。

  ※3 ColorNavigator ライセンス未認証モデルのCD-ROMに収録されています。「1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて」（P.10）参照
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD」対応

  当社のWebサイト（http://www.eizo.co.jp）からダウンロードできます。
- 色覚シミュレーションソフトウェア「UniColor Pro」対応

  当社のWebサイト（http://www.eizo.co.jp）からダウンロードできます。
- 省電力機能

  消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。この製品は省電力のための機能を搭載しています。
  - 主電源オフ時消費電力0W

    主電源スイッチを装備。

    モニターを使用しない時は、主電源スイッチを切ることで、確実に電源供給が停止します。
  - Auto EcoView 機能

    モニター正面の外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。不必要に明るくすると、消費電力の増加により環境に悪影響を及ぼし、目にも負荷を与えます。Auto EcoViewを使用して輝度を下げることができます。

    「5-2. モニターの自動明るさ調整を設定する」（P.40）参照
- HDCP（著作権保護技術）により保護されたコンテンツを表示可能

⚠ 注意

内蔵コレクションセンサーを使用する際は次の点に注意してください。

内蔵コレクションセンサーに触れない
内蔵コレクションセンサーの測定精度の低下、けがや破損の原因となります。

注意点

- 高温や高湿度の環境は、内蔵コレクションセンサーの測定精度に影響を与えます。次の条件でモニターを保管、または使用することをお勧めします。
  - 温度 30°C以下
  - 湿度 70%以下

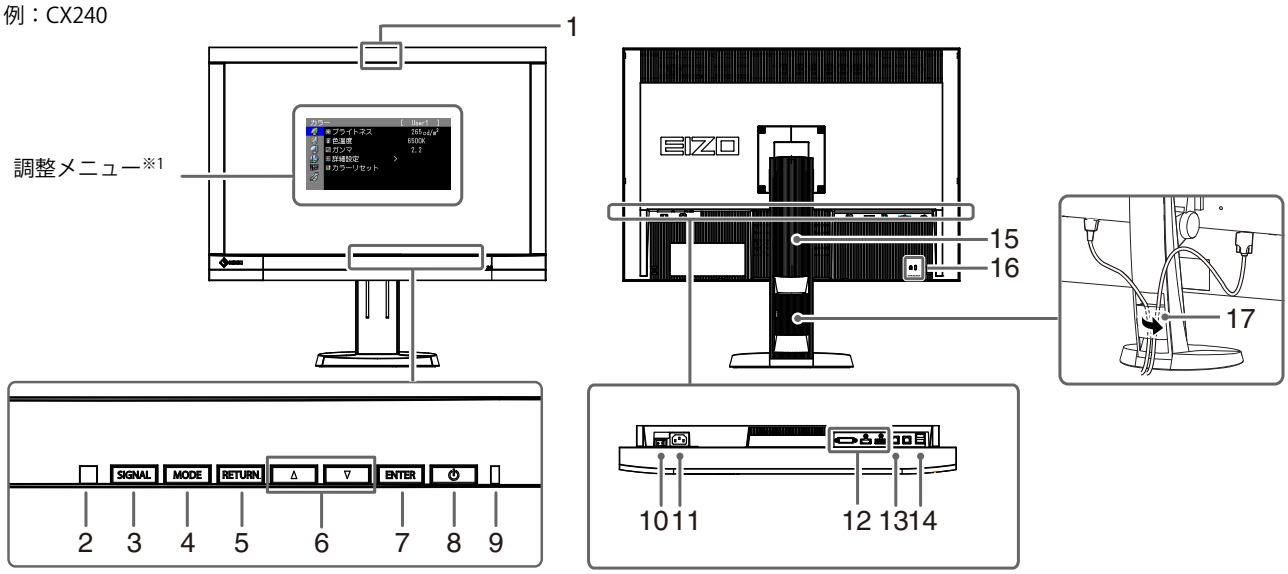
  また、直射日光下での保管、使用を避けてください。

参考

- このモニターは縦表示および横表示に対応しています。縦表示にした場合は、調整メニューの向きを変更することができます。（「3-3. 設置方向を設定する」（P.34）参照）。
- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（http://www.eizo.co.jp）。

1-2. 各部の名称と機能

例：CX240



1. 内蔵コレクションセンサー	モニター単独で画面補正をおこなうセンサーです。SelfCorrection（セルフコレクション）機能（P.38）
2. 環境光センサー	環境光を測定するセンサーです。
3. SIGNAL ボタン	表示する入力信号を切り替えます（P.48）。
4. MODE ボタン	カラーモードを切り替えます（P.18）。
5. RETURN ボタン	調整/設定をキャンセルしたり、調整メニューを終了します。
6. ▲▼ボタン	• 調整メニューの選択や、機能の調整または設定をします。 • 明るさ（ブライトネス）メニューを表示します（P.20）。
7. ENTER ボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します（P.11）。
8. ⏻ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。
9. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青：　画面表示 青点滅（すばやく2回）：　次の場合に再画面補正の必要性を通知 • ColorNavigatorでタイマーを設定した場合（CALモード） • SelfCorrection のスケジュールを設定した場合 橙：　省電力モード 消灯：　主電源/電源オフ
10. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。
11. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
12. 信号入力コネクタ	左：DVI-Iコネクタ/中：HDMIコネクタ/右：DisplayPortコネクタ
13. USBアップストリームポート	USB接続が必要なソフトウェア、USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します（P.49）。 **注意点** • 初期設定では、USBアップストリームポート1が有効です。初めに、USBアップストリームポート1に接続してください。
14. USBダウンストリームポート	USBに対応している周辺機器と接続できます。
15. スタンド※2	高さと角度が調整できます。
16. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
17. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。

※1 使用方法は、「1-4. 基本操作と機能一覧」（P.11）を参照してください。
※2 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります（「7-1. オプションアーム取付方法」（P.46）参照）。

1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtまたは「お読みください」を参照してください。

内容	概要	Windows	Macintosh
Readmeja.txtまたは「お読みください」ファイル		○	○
ColorNavigator※1	モニター特性の測定と調整、ICCプロファイル（for Windows）、Apple ColorSyncプロファイル（for Macintosh）の作成がおこなえるソフトウェアです。 （USBケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。）	○	○
ColorNavigator Elements※2	モニターに表示した写真と、プリントした写真を見比べてモニターの色合いと明るさを調整するソフトウェアです。 （USBケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。）	○	○
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	○	-
モニターの取扱説明書（PDFファイル）		○	○

※1 ColorNavigatorライセンス認証済モデルのみ
※2 ColorNavigatorライセンス未認証モデルのみ

● ColorNavigator / ColorNavigator Elementsを使用するときは

注意点

- モニター情報画面（P.50）で「ColorNavigatorライセンス」が「未登録」の場合、ColorNavigatorのライセンスをご購入いただき、モニターに登録する必要があります。ライセンスのご購入については、EIZOダイレクト（http://direct.eizo.co.jp）にお問い合わせください。
- ColorNavigator ElementsはColorNavigatorライセンスなしでご使用になれます。

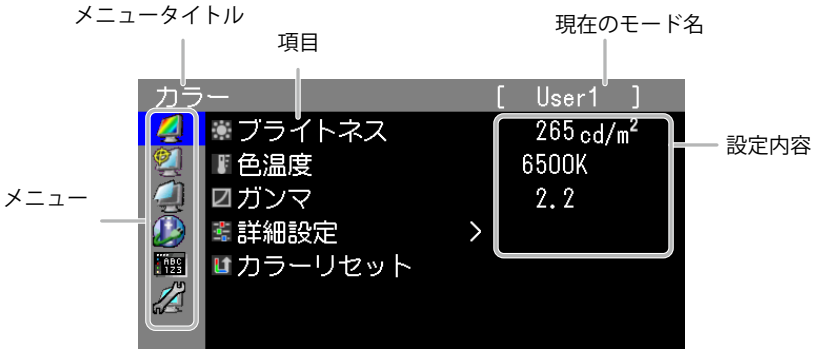
インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属のUSBケーブルで接続してください。USBケーブルの接続方法は、「7-3. USB（Universal Serial Bus）の活用について」（P.49）を参照してください。

1-4. 基本操作と機能一覧

● 調整メニューの基本操作方法

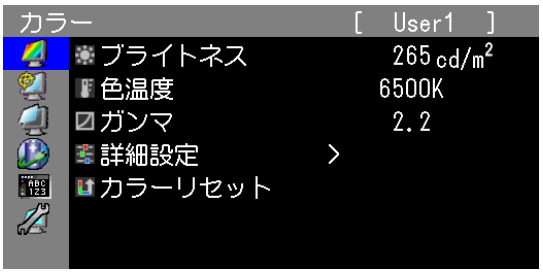
1. 調整メニューの表示

1. ENTER を押し、調整メニューを表示します。

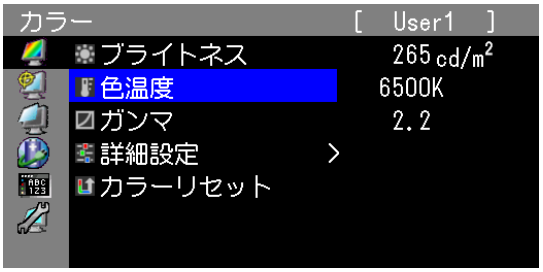


2. 調整/設定

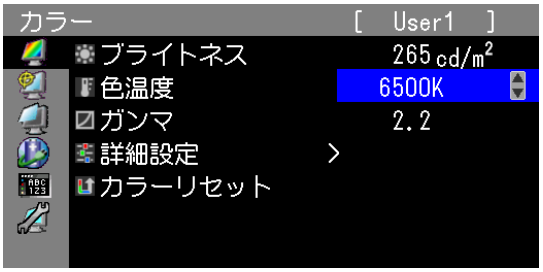
1. ▲▼で、調整/設定したいメニューを選択し、 ENTER を押します。



2. ▲▼で、調整/設定したい項目を選択し、 ENTER を押します。



3. ▲▼で、調整/設定し、 ENTER を押して確定します。

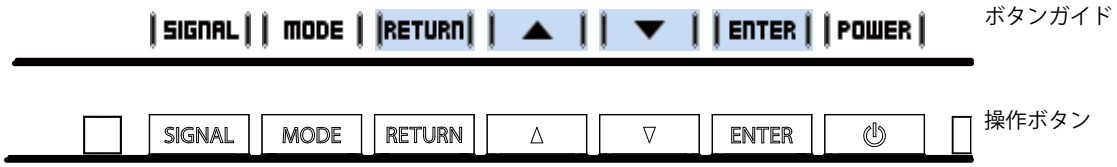


3. 終了

1. RETURN を数回押すと、メニューを終了します。

● ボタンガイドを表示する

フロントボタン（⏻ボタンを除く）を押すと、ボタンの上にボタンガイドが表示されます。（縦置きにしている場合には、ボタンの横に表示されます。）



参考

- 調整メニューおよびモードメニュー表示中は、ボタンガイドが常に画面に表示されます。
- ボタンガイドの表示は、表示しているメニューや状態によって異なります。
- CALモードでは▲▼ボタンの上にボタンガイドが表示されますが、輝度の調整はできません。

● 機能一覧

調整メニューおよび各メニューの設定項目の一覧表です。

メインメニュー	項目		参照先
カラー※1	ブライトネス		「2-3. カラー調整をする」（P.18）
	色温度		
	ガンマ		
	詳細設定	色合い	
		色の濃さ	
		コントラスト拡張	
		輪郭補正	
		クリッピング	
		ゲイン	
		6色調整	
	カラーリセット		「3-10. 初期設定に戻す」（P.37）
SelfCorrection	実行		「4-1. SelfCorrectionを実行する」（P.38）
スクリーン	画面サイズ		「2-6. 表示サイズを切り替える」（P.29）
	オーバードライブ		「2-7. 動画性能を設定する」（P.31）
	カラースペース		「2-8. カラースペースを指定する」（P.32）
	レンジ拡張		「2-5. 信号の出力レンジを拡張する」（P.28）
	HDMI設定※2	ノイズリダクション	「2-9. HDMIの設定をする」（P.32）
	アナログ調整※3	自動調整	「2-4. 画面を調整する」（P.25）
		レンジ調整	
		クロック	
		フェーズ	
		水平ポジション	
		垂直ポジション	
Power Manager	パワーセーブ		「5-1. パワーセーブを設定する」（P.39）
	Auto EcoView		「5-2. モニターの自動明るさ調整を設定する」（P.40）
	ランプ輝度		「5-4. ランプの明るさを調整する」（P.40）
	EcoView Index		「5-3. 省電力の度合いを表示する」（P.40）
メニュー設定	言語選択		「3-2. 言語を選択する」（P.33）
	設置方向		「3-3. 設置方向を設定する」（P.34）
	メニューポジション		「3-4. 調整メニューの位置を変更する」（P.34）

ツール	入力切替		「入力信号を切り替える」（P.48）
	モード設定		「3-1. モード選択の有効/無効を設定する」（P.33）
	USB選択	DVI	「3-8. USBポートを自動で切り替える」（P.36）
		DisplayPort	
		HDMI	
	入力信号情報		「7-4. モニター情報を表示する」（P.50）
	モニター情報		
	オールリセット		「3-10. 初期設定に戻す」（P.37）

※1 「カラー」で調整/設定できる機能はモードにより異なります（「2-3. カラー調整をする」（P.18）参照）。
※2 HDMI信号入力の場合に調整できます。
※3 アナログ信号入力の場合に調整できます。

第 2 章　画面を調整する

2-1. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

● アナログ信号（DVI-I）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック（Max.）	CS230	CX240
640×480	VGA	60 Hz	149.0 MHz（CS230）164.5 MHz（CX240）	○	○
720×400	VGA TEXT	70 Hz		○	○
800×600	VESA	60 Hz		○	○
1024×768	VESA	60 Hz		○	○
1280×960	VESA	60 Hz		○	○
1280×1024	VESA	60 Hz		○	○
1600×1200	VESA	60 Hz		-	○
1680×1050	VESA CVT、VESA CVT RB	60 Hz		○	○
1920×1080※1	CEA-861	60Hz		○	-
1920×1080※1	VESA CVT RB	60 Hz		○	○
1920×1200※2	VESA CVT RB	60 Hz		-	○

● デジタル信号（DVI-I、DisplayPort）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック（Max.）	CS230	CX240
640×480	VGA	60 Hz	149.0 MHz（CS230）164.5 MHz（CX240）	○	○
720×400	VGA TEXT	70 Hz		○	○
800×600	VESA	60 Hz		○	○
1024×768	VESA	60 Hz		○	○
1280×960	VESA	60 Hz		○	○
1280×1024	VESA	60 Hz		○	○
1600×1200	VESA	60 Hz		-	○
1680×1050	VESA CVT	60 Hz		○	○
1920×1080※1	CEA-861	60 Hz		○	○
1920×1200※2	VESA CVT RB	60 Hz		-	○

● デジタル信号（HDMI）入力時

- 映像信号
  - VGA / 480i,480p,1080i,720p,1080p：60 Hz
  - 576i,576p,1080i,720p,1080p：50 Hz
  - 1080p：24 Hz、25Hz、30Hz

VESA規格およびCEA-861に準拠したグラフィックスボードが必要です。
「3-7. 入力信号帯域を設定する」（P.35）参照
※1 CS230の推奨解像度です。
※2 CX240の推奨解像度です。

2-2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● Windows 10の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「ディスプレイ設定」をクリックします。
3. 「ディスプレイのカスタマイズ」ダイアログボックスで「ディスプレイの詳細設定」をクリックします。
4. モニターを選択し、「解像度」のプルダウンメニューから解像度を選択します。
5. 「適用」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

● Windows 8.1 / Windows 7の場合

1. Windows 8.1の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

● Windows Vistaの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

● Windows XPの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

● OS X Mountain Lion（10.8）以降の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ディスプレイ」をクリックします。（OS X Moutain Lion（10.8）の場合は、「ハードウェア」欄から「ディスプレイ」をクリックします。）
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」から「変更」を選択します。
4. 設定可能な解像度の一覧が表示されるので、一覧から解像度を選択します。
   目的の解像度が一覧に表示されない場合は、キーボードのOptionキーを押しながら「変更」を選択してください。
5. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

● Mac OS X 10.7の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2-3. カラー調整をする

● 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード		目的
CS230	CX240	
1-User1	1-User1	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
2-User2	2-User2	
3-User3	3-User3	
4-Paper	4-Paper	紙に印刷したような見え方になります。書籍や文書などの表示に適しています。
-	5-Adobe®RGB	Adobe®RGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
5-sRGB	6-sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
6-CAL	7-CAL	カラーマネージメントソフトウェア「ColorNavigator」およびフォトカラーマッチングソフトウェア「ColorNavigator Elements」による調整状態で表示します。

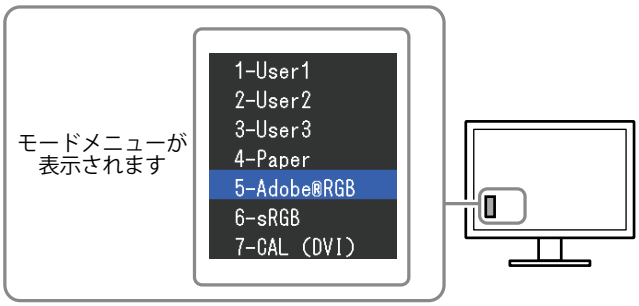
参考

- CALモードではColorNavigatorおよびColorNavigator Elementsで調整をおこなうことができます。
- 使用できるCALモードは入力信号ごとに異なります。

注意点

- ColorNavigatorおよびColorNavigator Elementsをご使用の際はモニターの操作をおこなわないようにしてください。ColorNavigatorおよびColorNavigator Elementsについては、「ColorNavigator / ColorNavigator Elementsを使用するときは」（P.10）を参照してください。

例:DVI信号入力時（CX240）



→1-User1←→2-User2←→3-User3←→4-Paper←
→7-CAL←→6-sRGB←→5-Adobe®RGB←

設定方法

1. MODE を押します。

   モードメニューが画面左下に表示されます。

2. MODE を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。

   モードメニュー表示中は、▲または▼を押してモードを切り替えることもできます。

参考

- 調整メニューとモードメニューを同時に表示させることはできません。
- 特定のモードを選択できないようにすることができます。詳細は「3-1. モード選択の有効/無効を設定する」（P.33）を参照してください。
- ScreenManager Pro for LCDを使うと、使用するソフトウェアに合わせて、カラーモードが自動的に切り替わります（ScreenManager Pro for LCD の取扱説明書「第3 章 オートファインコントラスト」参照）。

● 詳細な調整をする

調整メニューの「カラー」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分（CS230）/約7分（CX240：当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上（CS230）/7分以上（CX240）経過してからおこなってください。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください（「色階調を自動調整する」（P.28）参照）。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- ScreenManager Pro for LCD を使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をカラーデータとして保存し、読み込むこともできます（ScreenManager Pro for LCDの取扱説明書「第4 章 カラー調整」参照）。
- ColorNavigatorを使用して複数モニターの色合わせを重視したモニター調整が可能になります。詳細は、ColorNavigatorの取扱説明書を参照してください。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整/設定できない機能は選択できません。）各モードの調整/設定内容はすべての入力信号に対して適用されます。

○：調整可　—：調整不可

機能名	カラーモード							
	CS230	1-User1	2-User2	3-User3	4-Paper	-	5-sRGB	6-CAL
	CX240	1-User1	2-User2	3-User3	4-Paper	5-Adobe®RGB	6-sRGB	7-CAL
ブライトネス		○	○	○	○	○	○	—
色温度		○	○	○	○	○	○	—
ガンマ		○	○	○	—	○	○	—
色合い		○	○	○	—	—	—	—
色の濃さ		○	○	○	—	—	—	—
コントラスト拡張		○	○	○	—	—	—	—
輪郭補正		○	○	○	○	○	○	—
クリッピング		—	—	—	—	○	○	—
ゲイン		○	○	○	—	—	—	—
6色調整		○	○	○	—	—	—	—

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

50cd/m^2～300cd/m^2

設定方法

1. ▲または▼を押します。
   ブライトネスメニューが表示されます。
2. ▲または▼で設定します。
3. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- 設定した値にできない場合、値がマゼンタで表示されます。値を変更してください。

参考

- 調整メニューの「カラー」－「ブライトネス」で調整することもできます。
- 「cd/m^2」表示は調整の目安としてご利用ください。

● 色温度を調整する

色温度を調整します。
通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。
炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

Native、4000K～10000K（100K単位）、Standard

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー」で「色温度」を選択し、ENTERを押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

参考

- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」（P.24）参照）。
- 「Native」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
- Adobe®RGB（CX240のみ）/sRGBモードの初期設定は「Standard」で、各規格に準拠した色温度になります。

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.6〜2.7、Standard

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「ガンマ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- Adobe®RGB（CX240のみ）/sRGBモードの初期設定は「Standard」で、各規格に準拠したガンマになります。
- ColorNavigatorを使用するとガンマカーブをL*に調整することができます。詳細は、ColorNavigatorの取扱説明書を参照してください。

● 色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-100〜100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「色合い」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「色の濃さ」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 最小値（-100）で白黒の画面となります。

● コントラスト拡張の有効/ 無効を切り替える

映像に合わせてバックライトの明るさとゲインレベルを制御するとともに、ガンマ値を補正し、コントラスト感のある画像を実現する機能です。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「コントラスト拡張」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

● 輪郭補正をする

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感、素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

設定方法

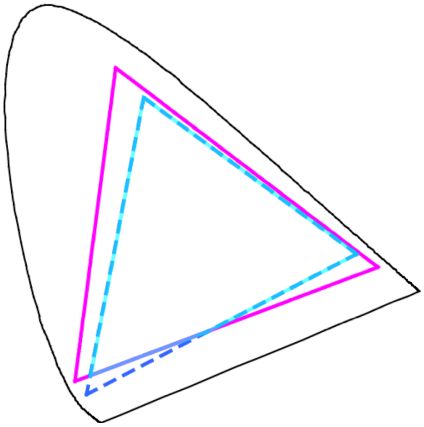
1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「輪郭補正」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で、表示状態を-3～3（ソフト～シャープ）の範囲から好みに応じて選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

● クリッピングを設定する

モニターの色域を、定義された色域（sRGBなど）の規格値どおりに表示することができます。この機能を使用すると、定義された色域のうち、モニターの色域外の色の表示方法を設定できます。

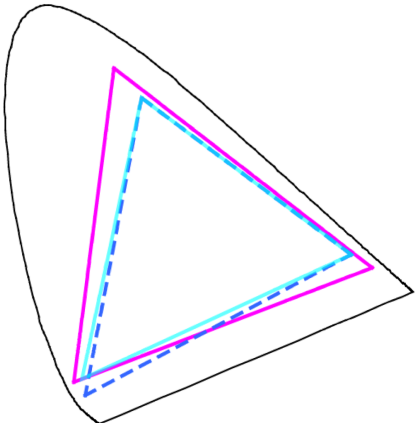
設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「クリッピング」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。



オン

規格値で表示します。
モニターの色域外の色はクリップされます。



オフ

色の正確性よりも、階調性を重視して表示します。
モニターの色域外の原色（図では青）を、モニターが表示できる最も近い色に設定します。

———	モニターの色域
- - -	規格で定義された色域
———	画面に表示する色域

注意点

- この図は概念図であり、製品の実際の色域を示すものではありません。

5. 調整が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 色域の規格があるカラーモードのみ設定できます。

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0%〜100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「ゲイン」を選択し、ENTER を押します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、ENTER を押します。
5. ▲または▼で設定します。
6. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- この設定は「色温度」を設定すると無効になります。
- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

● 6色調整をする

Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blueの色合いおよび色の濃さを個別に調整します。

調整範囲

-100〜100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「6色調整」を選択し、ENTER を押します。
4. 「Magenta」、「Red」、「Yellow」、「Green」、「Cyan」、「Blue」の中から調整する色を選択し、ENTER を押します。
5. 「色合い」または「色の濃さ」を選択し、ENTER を押します。
6. ▲または▼で設定します。
7. 設定が完了したら ENTER を押します。

2-4. 画面を調整する

● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、詳細な調整をおこなう場合は「2-3. カラー調整をする」（P.18）以降を参照してください。

● アナログ信号入力の場合

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分（CS230）/約7分（CX240：当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上（CS230）/7分以上（CX240）経過してからおこなってください。
- 解像度800×600（SVGA）未満の信号ではセルフアジャスト機能（自動画面調整機能）は働きません。
- セルフアジャスト機能/自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
  - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
  - 壁紙など背景を黒で使用している場合

  また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

参考

- 次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
  - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、次の設定手順に従って画面を調整してください。

設定手順

1. 自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
3. 「アナログ調整」で「自動調整」を選択し、ENTER を押します。

   自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。
正確に表示された場合は、「輪郭補正をする」（P.22）にお進みください。

2. アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCDユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

参考

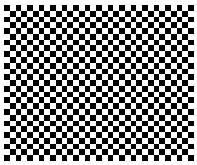
- 「画面調整パターン集」の開き方および内容については、Readmeja.txtファイルを参照してください。

3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン1を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、 ENTER を押します。
4. 「アナログ調整」で「自動調整」を選択し、 ENTER を押します。

   自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。
正確に表示された場合は、「輪郭補正をする」（P.22）にお進みください。

4. 調整メニューの「スクリーン」で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

縦縞を消す

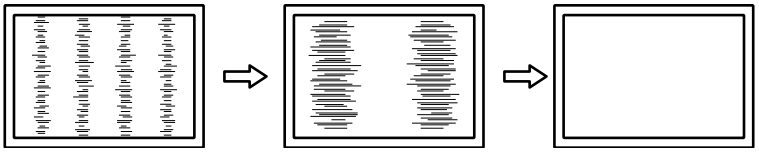
設定方法

1. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「アナログ調整」で「クロック」を選択し、 ENTER を押します。

   「クロック」が表示されます。
3. ▼または▲で縦縞が消えるように設定します。

   設定が合ったポイントを見逃しやすいので▼▲をゆっくり押して設定するようにしてください。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

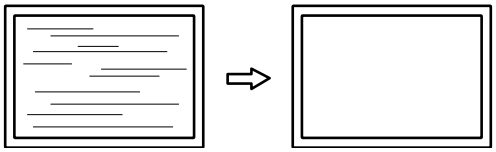
   設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる」にすすみ、設定をおこなってください。



ちらつきやにじみをとる

設定方法

1. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「アナログ調整」で「フェーズ」を選択し、ENTER を押します。
   「フェーズ」が表示されます。
3. ▼または▲で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。
   設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す」に戻り、再度設定をおこなってください。
   （クロック→フェーズ→ポジション）



注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

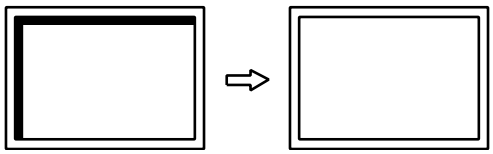
表示位置のずれを直す

参考

- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「アナログ調整」で「水平ポジション」または「垂直ポジション」を選択し、ENTER を押します。
   「水平ポジション」または「垂直ポジション」が表示されます。
3. 画像の位置が合うように▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。



5. パターン1を閉じます。

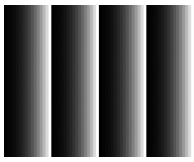
5. 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0〜255）を表示できるように調整できます。

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン2を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
3. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
4. 「アナログ調整」で「レンジ調整」を選択し、ENTER を押します。
   出力レンジが自動的に設定されます。
5. パターン2を閉じます。

2-5. 信号の出力レンジを拡張する

信号の出力レンジを16〜254から0〜255に拡張して表示します。映像制作などの作業の場合に、黒と白の範囲が制限されている映像を表示するとき、映像のコントラストを向上させるために使用することができます。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「レンジ拡張」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オン」/「オフ」/「オート」のいずれかを選択します。

注意点

- DVI信号入力時は「オート」を選択できません。

4. 設定が完了したら ENTER を押します。

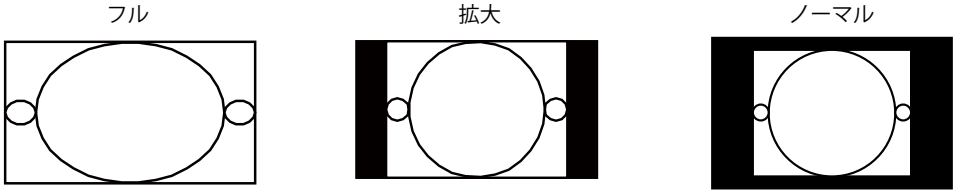
2-6. 表示サイズを切り替える

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「スクリーン」の「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

● DVI、DisplayPort信号入力時

設定	機能
フル	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1280×1024を表示した場合



	フル	拡大	ノーマル
CS230	1920×1080	1350×1080	1280×1024
CX240	1920×1200	1500×1200	1280×1024

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「フル」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

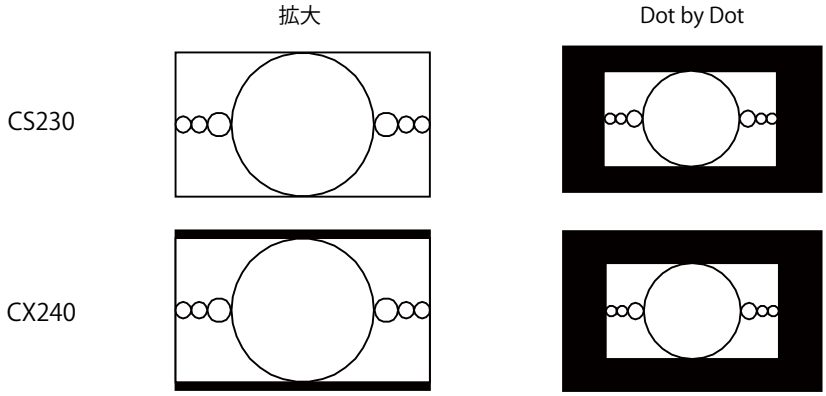
注意点

- 「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

● HDMI（HD）信号入力時

設定	機能
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
Dot by Dot	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：720p



設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「拡大」/「Dot by Dot」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

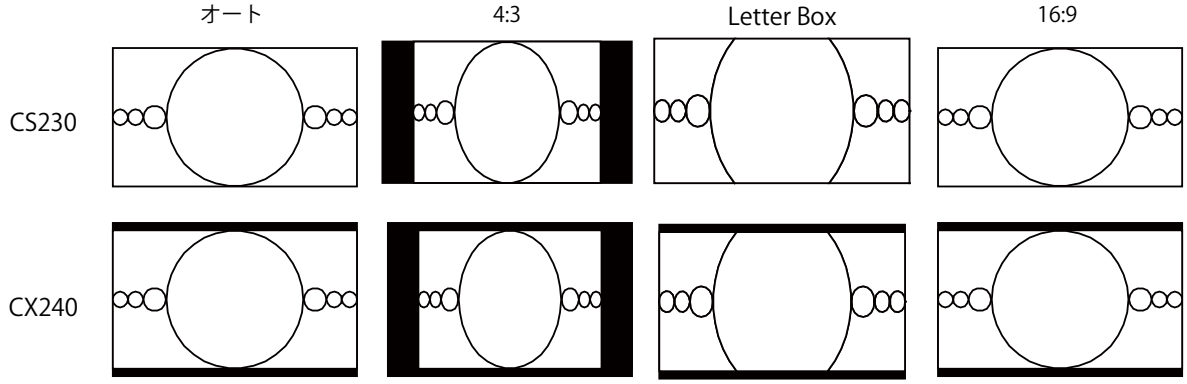
注意点

- CX240の場合、HDMI信号入力時は画面全体に画像を表示できません。

● HDMI（SD）信号入力時

設定	機能
オート	オート入力信号のアスペクト比情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。
4：3	4：3 の画面で表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。 16：9 サイズの映像は横に圧縮されます。
Letter Box	16：9 のレターボックスを画面全体に表示します。 レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。
16：9	16：9 サイズの映像をすべて画面に表示します。映像の上下に黒帯が表示されます。 4：3 サイズの映像は横に広がります。

例：480i/480p



設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オート」/「4：3」/「Letter Box」/「16：9」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

・CX240の場合、HDMI信号入力時は画面全体に画像を表示できません。

2-7. 動画性能を設定する

動きの速い画像で見られる残像を抑える機能です。ノイズや残像がかえって目立つ場合は、設定を「オフ」にしてください。
初期設定：「オン」

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「オーバードライブ」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

2-8. カラースペースを指定する

入力された信号のカラースペースを指定します。正しい色が表示できない場合に「オート」以外に設定します。

設定	機能
オート	入力信号のカラースペースを自動的に判別します。
YUV 4:2:2	入力信号のカラースペースを、YUV 4:2:2として扱います。
YUV 4:4:4	入力信号のカラースペースを、YUV 4:4:4として扱います。
RGB	入力信号のカラースペースを、RGBとして扱います。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「カラースペース」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オート」 / 「 YUV 4:2:2」 / 「YUV 4:4:4」 / 「RGB」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- DVI-HDMI変換コネクタを使用して、DVI機器をモニターのHDMIコネクタに接続している場合、設定が必要です。
- 「オート」に設定した場合でも、正しく表示できない場合があります。

参考

- DVI入力のカラースペースは、常に「RGB」となります。

2-9. HDMIの設定をする

● ノイズを低減する

映像の暗い部分に発生する細かいノイズを低減します。映像のノイズやざらつきを低減したい場合に使用します。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「HDMI 設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「ノイズリダクション」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- ノイズリダクション機能を利用すると、精細な画像が損なわれる場合があります。

第 3 章　モニターの設定をする

3-1. モード選択の有効/無効を設定する

モードを選択するときに、設定したモードだけを選択することができます。
表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「ツール」で「モード設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定を変更するモードを選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- すべてのモードを無効にすることはできません。1つ以上のモードを「オン」に設定してください。

3-2. 言語を選択する

調整メニューやメッセージの言語が選択できます。

選択できる言語

英語/ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/スウェーデン語/日本語/中国語（簡体）/中国語（繁体）

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「言語選択」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で言語を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-3. 設置方向を設定する

調整メニューの向きを変更することができます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「設置方向」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「横置き」または「縦置き」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。
5. 「縦置き」を選択した場合は、モニター画面を時計回りに90°回転します。

注意点

- ケーブル類が正しく接続されているかご確認ください。
- モニターの画面を回転する場合は、いったんスタンドの上限まで画面を引き上げて、上向き（チルト）にしてから回転してください。

参考

- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（http://www.eizo.co.jp/i/rotation/）。

3-4. 調整メニューの位置を変更する

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で位置を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-5. EIZOロゴを表示/非表示にする

設定方法

1. ⏻を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」で「起動ロゴ」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択し、ENTER を押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

3-6. 操作ボタンをロックする

設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. ⏻を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODEを押しながら⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」で「操作ロック」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で「オフ」/「メニュー」/「オール」のいずれかを選択し、ENTERを押します。

設定	ロックできるボタン
オフ （初期設定）	なし（すべてのボタンが有効）
メニュー	ENTERボタン
オール	⏻ボタンを除くすべてのボタン

5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTERを押します。

3-7. 入力信号帯域を設定する

周波数範囲と信号変化の検出感度を切り替えることができます。

注意点

・HDMI入力では使用できません。

設定方法

1. ⏻を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODEを押しながら⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」で「入力信号帯域」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で設定する入力信号を選択し、ENTERを押します。
5. ▲または▼で「Normal」または「Wide」を選択し、を押します。
6. RETURNを2回押します。
7. ▲または▼で「完了」を選択します。
8. ENTERを押します。

3-8. USBポートを自動で切り替える

1台のモニターに2台のコンピュータを接続している場合、入力信号とUSBアップストリームポートを関連付けることができます。これにより、入力信号の切り替えに連動して、USBポートが自動的に切り替わります。2台のコンピュータで1台のモニターをキャリブレーションする場合でもUSBケーブルを接続しなおす必要はありません。また、マウスやキーボードなどのUSB機器をモニターに接続して2台のコンピュータで使用することができるようになります。

注意点

- USBポートを切り替えて使用する場合は、USBケーブルが2本必要です。別途ケーブルを準備してください。
- 設定を変更する際は、モニターにUSBメモリなどの記憶装置を接続している場合、記憶装置を取り外してから設定を変更してください。データの消失、破損の恐れがあります。
- キーボードのキー配列を変更することはできません。

参考

- 「入力切替」機能を「オート」に設定した場合、入力信号に連動してUSBポートも切り替わります。
- USBダウンストリームポートは、表示中のコンピュータで動作することができます。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「ツール」で「USB選択」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定する入力信号を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「USB-1」または「USB-2」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-9. DUE（Digital Uniformity Equalizer）設定を変更する

DUE設定を変更できます。

設定	機能
Brightness	最大輝度およびコントラスト比を変更せずに、画面全体の輝度と色が均一になるように補正します。高階調部の輝度は補正されません。高階調部はユニフォミティより輝度およびコントラストの高さを優先したい場合に選択します。
Uniformity（初期値）	画面全体の輝度および色が均一になるように補正します。高階調部の輝度も均一になるように補正します。高階調部は輝度およびコントラストの高さよりユニフォミティを優先したい場合に選択します。

注意点

- DUEの設定を変更する場合、画面調整をしているモニターは、画面の再調整が必要になります。ColorNavigatorまたはColorNavigator Elementsで目標の調整をやりなおしてください。ColorNavigatorおよびColorNavigator Elementsについては、「ColorNavigator / ColorNavigator Elementsを使用するときは」（P.10）を参照してください。

設定方法

1. ⏻を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」から「DUE Priority」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「Uniformity」または「Brightness」を選択し、 ENTER を押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

3-10.初期設定に戻す

設定値を初期設定にリセットします。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定値（CS230、CX240共通）」（P.53）を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「カラーリセット」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「実行」を選択します。
4. ENTER を押します。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します（「オプション設定」メニューおよび「USB選択」を除く）。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「オールリセット」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「実行」を選択します。
4. ENTER を押します。

第 4 章　SelfCorrectionについて

この製品は、内蔵コレクションセンサーを搭載しています。ColorNavigator と測定器を使うか、ColorNavigator Elementsを使って調整した状態を維持することができます。
ColorNavigatorまたはColorNavigator Elementsで、事前にSelfCorrection の調整目標や調整間隔の時間を設定することで、内蔵コレクションセンサーが自動的に作動し、定期的に画面補正を実行することができます。

注意点

- SelfCorrectionを実行するためには調整内容の設定が必要です。事前にColorNavigatorまたはColorNavigator Elementsで目標値を設定してください。ColorNavigatorおよびColorNavigator Elementsについては、「ColorNavigator / ColorNavigator Elementsを使用するときは」（P.10）を参照してください。

参考

- SelfCorrectionはコンピュータの信号が入力されていない状態でもおこなうことができます。

4-1. SelfCorrectionを実行する

調整方法

1. 調整メニューの「SelfCorrection」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「SelfCorrection」で「実行」を選択し、 ENTER を押します。
   内蔵コレクションセンサーが現れ、SelfCorrectionが実行されます。

注意点

- 「実行」を選択後、内蔵コレクションセンサーが出る前にエージングが実行される場合があります。

第 5 章　省電力機能について

5-1. パワーセーブを設定する

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンで電源を切った場合でも、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します（「5-5. USBのパワーセーブを設定する」（P.41）で「USB Power Save」を「オン」にした場合を除く）。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- パワーセーブ移行の5秒前になると予告メッセージが表示されます。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

省電力の流れ

アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

デジタル信号入力の場合

- **DVI信号入力時**
  「DVI DMPM」に準拠しています。
- **DisplayPort信号入力時**
  「DisplayPort Standard V1.1a」に準拠しています。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

HDMI信号入力の場合

コンピュータの設定に連動し5秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

5-2. モニターの自動明るさ調整を設定する

Auto EcoView（オートエコビュー）を使用するとモニター下部の環境光センサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView 機能を使用する場合は環境光センサーをふさがないように注意してください。
- ColorNavigatorおよびColorNavigator Elementsを使用する場合、Auto EcoViewは使用できません。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「Auto EcoView」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- Auto EcoView の自動調整の範囲は、調整メニューの「ブライトネス」を調整すると、連動して変更されます。

5-3. 省電力の度合いを表示する

「EcoView Index」で電力削減量、CO_2削減量、省エネレベルを確認できます。省エネレベルを表すインジケータが多く点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「EcoView Index」を選択し、ENTER を押します。
   「EcoView メニュー」が表示されます。

5-4. ランプの明るさを調整する

電源ランプ（青）の明るさを調整できます。（初期設定：4）

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「ランプ輝度」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼でランプの明るさを「オフ」または1～7の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

5-5. USBのパワーセーブを設定する

モニターのパワーセーブと連動して、USB接続を無効にすることができます。

注意点

- モニターのUSBアップストリームポートおよびUSBダウンストリームポートの両方にUSB機器が接続されている場合、「USB Power Save」を「オン」に設定してもUSB接続は無効になりません。

設定方法

1. ⏻を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「USB Power Save」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オフ」または「オン」を選択し、 ENTER を押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

5-6. DisplayPortのパワーセーブを設定する

コンピュータをDisplayPortコネクタに接続している場合、電源のオフ/オン時、および省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれることがあります。その場合は、この機能を「オフ」に設定してください。

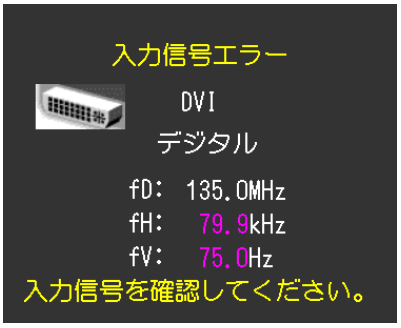
設定方法

1. ⏻を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「DP Power Save」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オフ」または「オン」を選択し、 ENTER を押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

第 6 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。

6-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく接続されていますか。 ・主電源を入れてください。 ・⏻を押してください。 ・主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
・電源ランプが点灯：青色	・調整メニューの「ブライトネス」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」（P.19）参照）。
・電源ランプが点灯：橙色	・SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。 ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・コンピュータの電源は入っていますか。
・電源ランプが点滅：橙色、青色	・DisplayPort / HDMI接続している機器に問題があります。問題を解決し、モニターの電源を入れなおしてみてください。詳細は出力機器の取扱説明書を参照してください。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
・信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	・コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 ・コンピュータの電源は入っていますか。 ・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。
・入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数はマゼンタで表示されます。） 例：  fD：ドットクロック（デジタル信号入力時のみ表示されます） fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数	・コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2-1. 対応解像度」（P.15）参照）。 ・コンピュータを再起動してみてください。 ・グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください

6-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	• 調整メニューの「ブライトネス」を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。）
2. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2-1. 対応解像度」（P.15）参照）。 • 調整メニューの「輪郭補正」で調整してみてください（「輪郭補正をする」（P.22）参照）。
3. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	• 調整メニューの「オーバードライブ」の設定を「オフ」にしてみてください（「2-7. 動画性能を設定する」（P.31）参照）。 • HDCPの信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7. （DisplayPort入力時）ウィンドウの表示位置が変わる	• 信号を切り替えたときにウィンドウの位置がずれることがあります。調整メニューの「DP Power Save」で、設定を「オフ」にしてください（「5-6. DisplayPortのパワーセーブを設定する」（P.41）参照）。
8. （HDMI入力時）画面がおかしい	• 調整メニューの「スクリーン」-「カラースペース」を調整してみてください。
9. 画面全体に画像が表示されない	• 表示サイズが「フル」以外に設定されています。「フル」に設定してください。 • CX240の場合、HDMI信号入力時は1080iおよび1080pが最大解像度になるため、画面全体に画像を表示できません。

6-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 調整メニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-6. 操作ボタンをロックする」（P.35）参照）。
2. モードメニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-6. 操作ボタンをロックする」（P.35）参照）。
3. USBケーブルで接続したモニターが認識されない/モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない	• USBケーブルは正しく接続されていますか（「7-3. USB（Universal Serial Bus）の活用について」（P.49）参照）。 • 設定メニューの「ツール」-「USB選択」を確認してみてください（「3-8. USBポートを自動で切り替える」（P.36）参照）。 • 別のUSBポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、EIZOサポートにご相談ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。 • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。 • Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。
4. 音声を出せない	• この製品は、HDMI/DisplayPortの音声信号には対応していません。

6-4. 内蔵コレクションセンサーおよびSelfCorrectionに関する症状

症状	原因と対処方法
1. 内蔵コレクションセンサーが出てこない/出たままになる	• 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
2. SelfCorrectionが実行できない	• ColorNavigatorのライセンスが認証されているか確認してください。（「ColorNavigator / ColorNavigator Elementsを使用するときは」（P.10）参照） • ColorNavigatorまたはColorNavigator ElementsでSelfCorrectionの調整目標を設定してください。
3. SelfCorrectionに失敗する	• エラーコード表を参照してください。エラーコード表にないコードが表示された場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。

エラーコード表

エラーコード	詳細
0014	• SelfCorrectionをやり直してみてください。 • ColorNavigatorまたはColorNavigator Elementsで調整してみてください。
0034	• 調整中に内蔵コレクションセンサーが出なかったり、測定中にセンサーに光が入った可能性があります。 • 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてからSelfCorrectionをやり直してみてください。
0050	• SelfCorrectionをやり直してみてください。
0061	• 内蔵コレクションセンサーが出なかった可能性があります。 • 内蔵コレクションセンサーの周囲に異物がないか確認してみてください。 • SelfCorrectionをやり直してください。

第 7 章　ご参考に

7-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。http://www.eizo.co.jp

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。
  -取付部のねじ穴間隔：100mm×100mm
  -プレート部の厚み：2.6mm
  -許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合、取り付けには次のねじをご使用ください。
  -本体部分とスタンドを固定しているねじ
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  -上45°下45°
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。
- 縦置きに設置する場合は、モニター画面を時計回りに90°回転してください。

取付方法

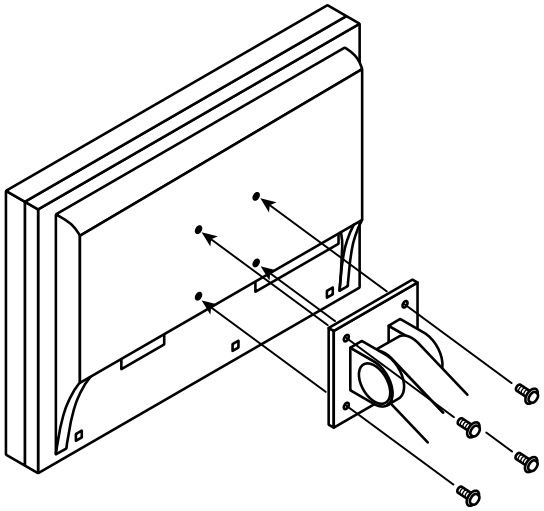
1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

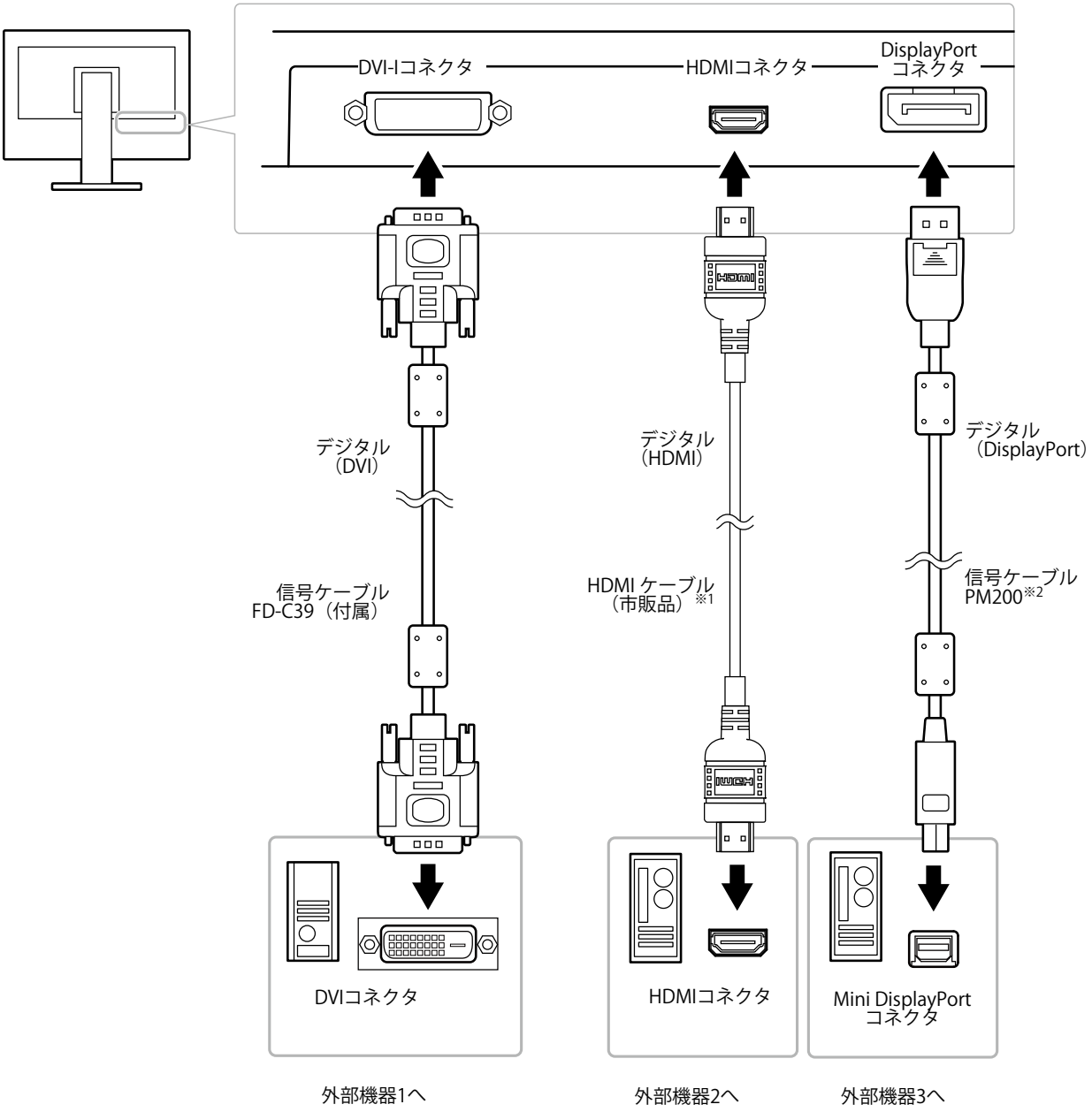
本体部分とスタンドを固定しているねじを使用して取り付けます。



7-2. 複数の外部機器を接続する

この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

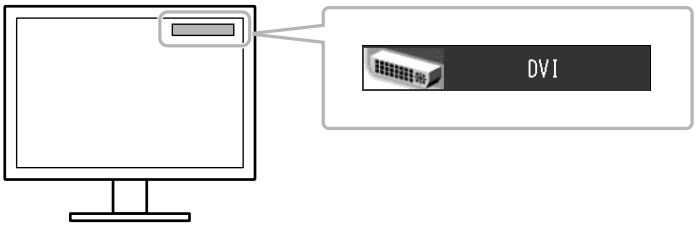
接続例



※1 High Speed 対応品をご使用ください。
※2 CS230：オプション、CX240：付属

● 入力信号を切り替える

SIGNAL を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 外部機器が省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択されているコネクタからの信号を表示します。操作ボタンの SIGNAL で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入力切替」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「オート」を選択した場合、すべての外部機器が省電力モードに移行した場合のみ、モニターが省電力モードに移行します。

7-3. USB（Universal Serial Bus）の活用について

このモニターはUSBハブを搭載しています。USB対応のコンピュータに接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

● 動作条件

- USB Specification Revision 2.0に準拠したコンピュータ（USBホスト機能を持つ機器を含む）およびOS
- USBケーブル

注意点

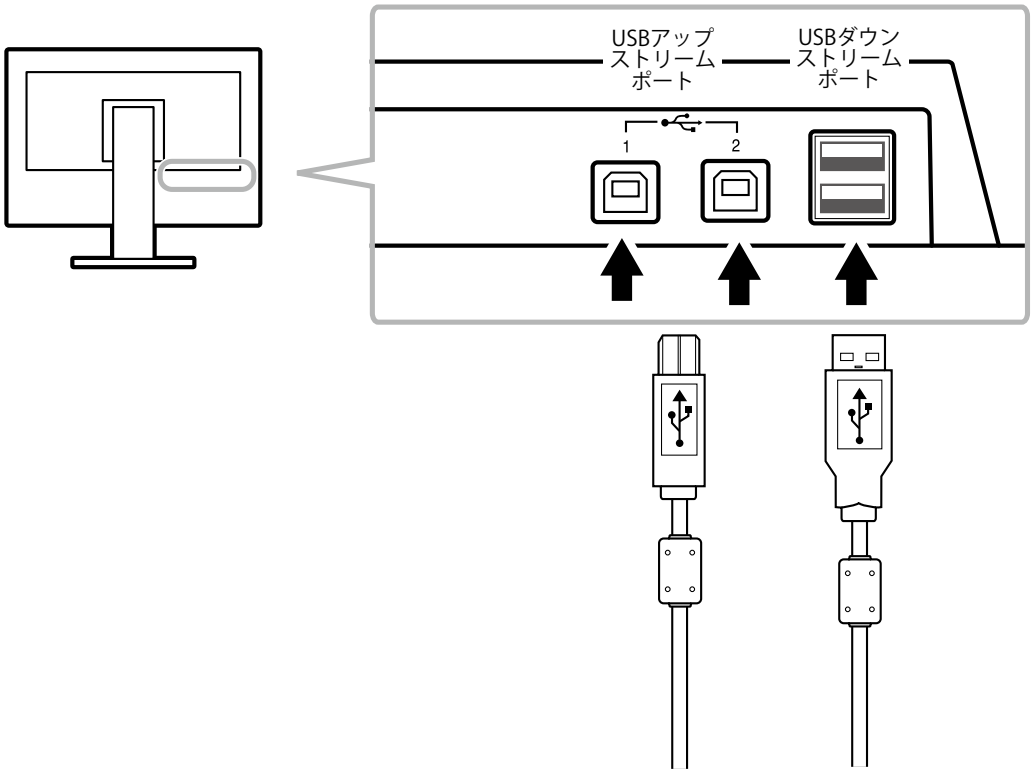
- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンのみで電源が切れている場合でも、USBアップストリームポートおよびUSBダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作しません。

● 接続方法

1. コンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動します。
2. コンピュータのUSB ダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポート1をUSBケーブルで接続します。
3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。

参考

- 初期設定では、USBアップストリームポート1が有効です。2台のコンピュータを接続する場合は、「3-8. USBポートを自動で切り替える」（P.36）を参照してください。



7-4. モニター情報を表示する

● 信号情報を表示する

現在表示している入力信号の情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入力信号情報」を選択し、ENTER を押します。

   「入力信号情報」が表示されます。

   （例）

● モニター情報を表示する

この製品に関する情報を表示します。

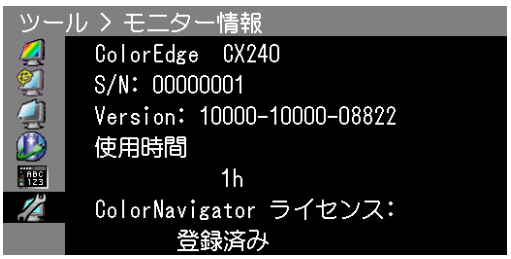
設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「モニター情報」を選択し、ENTER を押します。

   「モニター情報」が表示されます。

   製品名、製造番号、ファームウェアバージョン、使用時間、ColorNavigatorライセンスの状態などを表示します。

   （例）



注意点

- 工場での検査のため、最初にモニターの電源を入れたときに使用時間が「0」ではない場合があります。
- モニター情報画面で「ColorNavigatorライセンス」が「未登録」の場合、ColorNavigatorのライセンスをご購入いただき、モニターに登録する必要があります。ライセンスのご購入については、EIZOダイレクト（http://direct.eizo.co.jp）にお問い合わせください。

7-5. 仕様

● CS230

液晶パネル	サイズ		58cm（23.0）型
	種類		カラーTFT、IPS、LEDバックライト
	表面処理		ハードコーティング
	表面硬度		3H
	視野角		左右178°、上下178°（CR≧10）
	ドットピッチ		0.265mm
	応答速度		黒→白→黒：　約15.2ms
			中間階調域：　約10.5ms
水平走査周波数	アナログ		26kHz～68kHz
	デジタル	DVI / DisplayPort	26kHz～68kHz
		HDMI	15kHz～68kHz
垂直走査周波数	アナログ		47.5Hz～61Hz（ノンインターレース）
	デジタル	DVI / DisplayPort	23.75Hz～63Hz（ノンインターレース） （VGA TEXT時：69Hz～71Hz）
		HDMI	23.75Hz～61Hz
フレーム同期モード			23.75Hz～30.5Hz、47.5Hz～61Hz
解像度			1920ドット×1080ライン
ドットクロック（最大）			149 MHz
最大表示色			約10億7374万色（DisplayPort 10bit入力時）
表示サイズ（水平×垂直）			509.2mm×286.4mm
電源			AC100V±10%、50/60Hz、0.6A
消費電力	画面表示時		54W以下
	省電力モード時		0.5W以下　（DVI 1系統、アナログ信号入力、USB機器非接続時）
	電源オフ時		0.5W以下　（USB機器非接続時）
	主電源オフ時		0W
信号入力コネクタ			DVI-Iコネクタ（HDCP対応）
			DisplayPortコネクタ（Standard V1.1a準拠、HDCP対応）
			HDMIコネクタ（TypeA、HDCP対応）
アナログ信号　入力同期信号			セパレート、TTL、正/負極性
アナログ信号　伝送方式			アナログ、正極性（0.7Vp-p/75Ω）
デジタル信号（DVI/HDMI）伝送方式			TMDS（Single Link）
プラグ&プレイ機能			デジタル信号（DVI-I）入力時：VESA DDC 2B/EDID structure 1.3 デジタル信号（DisplayPort）入力時：VESA DisplayPort/EDID structure 1.4
寸法（幅）×（高さ）×（奥行き）	本体		544mm x 372.5mm～526.5mm x 245.5mm
	本体（スタンドなし）		544mm×353mm×75mm
質量	本体		約7.9kg
	本体（スタンドなし）		約5.3kg
可動範囲			チルト角度：　上30°、下0°
			スウィーベル角度：　344°
			昇降：　195mm（チルト角度0°時は154mm）
			ローテーション：　90°（時計回り）

環境条件	温度	動作温度範囲：　0˚C～35˚C
		輸送および保存温度範囲：　-20˚C～60˚C
	湿度	動作湿度範囲：　20%～80% R.H.（非結露状態）
		輸送および保存湿度範囲：　10%～90% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：　700hPa～1060hPa
		輸送および保存気圧範囲：　200hPa～1060hPa
USB	規格	USB Specification Revision 2.0準拠
	ポート	アップストリーム×2、ダウンストリーム×2
	通信速度	480Mbps（ハイスピード）、12Mbps（フルスピード）、1.5Mbps（ロースピード）
	供給電源	ダウンストリーム：　最大500mA/1ポート

● CX240

液晶パネル	サイズ		61cm（24.1）型
	種類		カラーTFT、IPS、LEDバックライト
	表面処理		ハードコーティング
	表面硬度		3H
	視野角		左右178˚、上下178˚（CR≧10）
	ドットピッチ		0.270mm
	応答速度		黒→白→黒：　約12ms
			中間階調域：　約7.7ms
水平走査周波数	アナログ		26kHz～78kHz
	デジタル	DVI / DisplayPort	26kHz～78kHz
		HDMI	15kHz～68kHz
垂直走査周波数	アナログ		47.5Hz～61Hz（ノンインターレース）
	デジタル	DVI / DisplayPort	23.75Hz～63Hz（ノンインターレース）（VGA TEXT時：69Hz～71Hz）
		HDMI	23.75Hz～61Hz
フレーム同期モード			23.75Hz～30.5Hz、47.5Hz～61Hz
解像度			1920ドット×1200ライン
ドットクロック（最大）			164.5MHz
最大表示色			約10億7374万色（DisplayPort 10bit入力時）
表示サイズ（水平×垂直）			518.4mm×324.0mm
電源			AC100V±10%、50/60Hz、1.0A
消費電力	画面表示時		98W以下
	省電力モード時		0.5W以下　（DVI 1系統、アナログ信号入力、USB機器非接続時）
	電源オフ時		0.5W以下　（USB機器非接続時）
	主電源オフ時		0W
信号入力コネクタ			DVI-Iコネクタ（HDCP対応）
			DisplayPortコネクタ（Standard V1.1a準拠、HDCP対応）
			HDMIコネクタ（TypeA、HDCP対応）
アナログ信号　入力同期信号			セパレート、TTL、正/負極性
アナログ信号　伝送方式			アナログ、正極性（0.7Vp-p/75Ω）
デジタル信号（DVI/HDMI）伝送方式			TMDS（Single Link）
プラグ&プレイ機能			デジタル信号（DVI-I）入力時：VESA DDC 2B/EDID structure 1.3 デジタル信号（DisplayPort）入力時：VESA DisplayPort/EDID structure 1.4
寸法（幅）×（高さ）×（奥行き）	本体		575mm x 417mm～545mm x 245.5mm
	本体（スタンドなし）		575mm×398mm×75mm

質量	本体	約9.7kg	
	本体（スタンドなし）	約7.0kg	
可動範囲		チルト角度：	上30˚、下0˚
		スウィーベル角度：	344˚
		昇降：	195mm（チルト角度0˚時は128mm）
		ローテーション：	90˚（時計回り）
環境条件	温度	動作温度範囲：	0˚C～35˚C
		輸送および保存温度範囲：	-20˚C～60˚C
	湿度	動作湿度範囲：	20%～80% R.H.（非結露状態）
		輸送および保存湿度範囲：	10%～90% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：	700hPa～1060hPa
		輸送および保存気圧範囲：	200hPa～1060hPa
USB	規格	USB Specification Revision 2.0準拠	
	ポート	アップストリーム×2、ダウンストリーム×2	
	通信速度	480Mbps（ハイスピード）、12Mbps（フルスピード）、1.5Mbps（ロースピード）	
	供給電源	ダウンストリーム：	最大500mA/1ポート

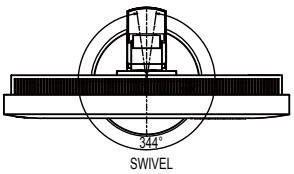
主な初期設定値（CS230、CX240共通）

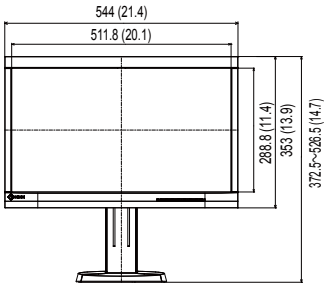
カラーモード	User1
輪郭補正	0
画面サイズ	フル（DVI、DisplayPort） 拡大（HDMI、HD信号） オート（HDMI、SD信号）
オーバードライブ	オン
パワーセーブ	オン
Auto EcoView	オン
言語選択	日本語
メニューポジション	中央
入力切替	マニュアル
USB Power Save	オフ
DP Power Save	オン
DUE Priority	Uniformity

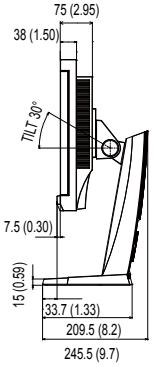
外観寸法

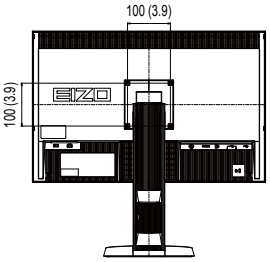
CS230

単位：mm（インチ）



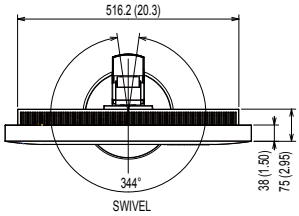


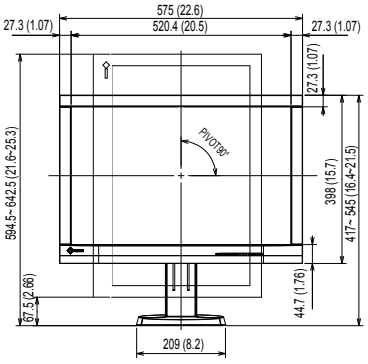


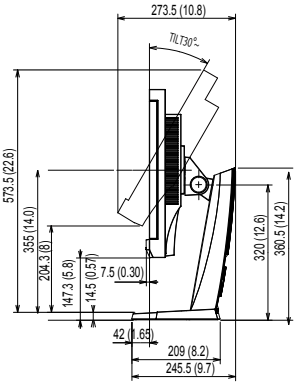


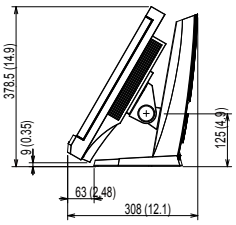
CX240

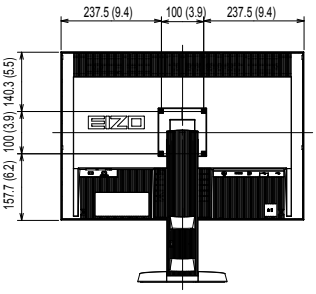
単位：mm（インチ）











7-6. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているアナログ信号のタイミングは次のとおりです。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

CS230

解像度	対応信号	周波数			極性	
		ドットクロック：MHz	水平：kHz	垂直：Hz	水平	垂直
640 × 480	VGA	25.18	31.47	59.94	負	負
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09	負	正
800 × 600	VESA	40.00	37.88	60.32	正	正
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00	負	負
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00	正	正
1280 ×1024	VESA	108.00	63.98	60.02	正	正
1680 ×1050	VESA CVT	146.25	65.29	59.95	負	正
1680 ×1050	VESA CVT RB	119.00	64.67	59.88	正	負
1920 ×1080	VESA CVT RB	138.50	66.59	59.93	負	正
1920 ×1080	CEA-861	148.50	67.50	60.00	正	正

CX240

解像度	対応信号	周波数			極性	
		ドットクロック：MHz	水平：kHz	垂直：Hz	水平	垂直
640 × 480	VGA	25.18	31.47	59.94	負	負
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09	負	正
800 × 600	VESA	40.00	37.88	60.32	正	正
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00	負	負
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00	正	正
1280 ×1024	VESA	108.00	63.98	60.02	正	正
1600 ×1200	VESA	162.00	75.00	60.00	正	正
1680 ×1050	VESA CVT	146.25	65.29	59.95	負	正
1680 ×1050	VESA CVT RB	119.00	64.67	59.88	正	負
1920 ×1080	VESA CVT RB	138.50	66.59	59.93	負	正
1920 ×1200	VESA CVT RB	154.00	74.04	59.95	正	負

7-7. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1920個、縦1080個（CS230）/1200個（CX240）の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920×1080（CS230）/1920×1200（CX240）の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）と青の色差（U）、赤の色差（V）により表現するYUV、赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の階調により表現するRGBなどがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

Adobe®RGB

アドビシステムズ社が1998年に提唱した実用的なRGB色空間の定義です。色再現域、（色域）がsRGBなどに比べて広く、印刷などへの適合が高いという特長があります。

DisplayPort

パソコンや音響、映像機器などをモニターに接続する次世代デジタルAVインターフェースです。1本のケーブルで映像とともに音声も伝送できます。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVIコネクタやHDMIコネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格の一つである「DVI」をベースにして、家電やAV機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1本のケーブルで伝送することができます。

sRGB（Standard RGB）

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

付録

商標

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
Windows、Windows Vista、Windows Media、SQL Server、Xbox 360は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Mac、Macintosh、iMac、eMac、Mac OS、MacBook、PowerBook、ColorSync、QuickTime、iBookはApple Inc.の登録商標です。
Adobe、Adobe AIR、Acrobat、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。
GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。
Spyder3はDataColor Holding AGの商標です。
Eye-One、ColorMunki、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。
NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。
RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。
NECは日本電気株式会社の登録商標です。PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。
プレイステーション、PlayStation、PSP、PS3は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは社団法人日本印刷産業機械工業会および社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiForce、RadiCS、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。
ColorNavigator、EIZO EasyPIX、EcoView NET、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZOサポートにお問い合わせください。EIZOサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- 本製品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 当社では、本製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZOサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定に従い、EIZOサポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはEIZOサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはEIZOサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号
  （製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8桁の番号です。
  例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS、システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- エラーコード（SelfCorrectionに失敗した場合）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。
- 修理状況や補修用性能部品の在庫切れ等により修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただくことがあります。

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。
（http://www.eizo.co.jp）

法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で一般社団法人「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）

個人のお客様

- **PCリサイクルマークの無償提供について**

  この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、当社のWebサイトよりお申し込みください。

  （http://www.eizo.co.jp）

  マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センター
EIZO Webサイト：http://www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html
※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。
（回収担当窓口は、一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センターにて対応いたします。）

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

- **PCリサイクルマークについて**

個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

- **お問い合わせ**

  本件に関するお問い合わせは、一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センター
電話：044-540-0576
月曜日～金曜日（祝日および同センター指定の休日を除く）10：00～17：00

EIZO株式会社
http://www.eizo.co.jp

Copyright © 2012-2017 EIZO Corporation. All rights reserved.

03V23988G2
UM-CX240

7th Edition-July, 2017